

嘉村ガバナー公式訪問報告書

1964・3・5



鹿児島西ロータリークラブ

☆ 本年度 R・I 会長指針 ☆

1. 個人対個人
2. クラブ対クラブ
3. 地区対地区

即ち

1. 個人と個人の接触によりロータリアンとしてのあなたにロータリーへの理解・知識・信念・実行を
2. クラブとクラブの接触により、ロータリアンとしてのあなたのクラブに充実・強化・人類愛的動き・国際奉仕的努力を、
3. 地区と地区との接触により、370地区の活躍・奮斗・全世界的企画・宇宙時代的進展が望まれている。

◎お互に元気出そう、小さい問題に又大きい問題に

◇ ロータリーソング ◇



奉仕の理想

手に手つないで

奉仕の理想に集いし友よ

手に手つないでつくる友の輪

御国に捧げん我等の業

輪に輪つないでつくる友垣

望むは世界の久遠の平和

手に手 輪に輪

めぐる歯車いや輝きて

ひろがれまわれ 一つ心に

永久に栄えよ 我等のロータリー

お、ロータリアン

ロータリー

お、ロータリアン

目 次

1.	クラブアッセンブリー プログラム	1
2.	役員並びに委員名簿	2
3.	会 長 報 告	3
4.	概 況 報 告	4
5.	会 計 報 告	5
6.	クラブサービス報告	5
7.	出席奨励委員会報告	5
8.	職業分類委員会報告	8
9.	会員選考委員会報告	9
10.	プログラム委員会報告	9
11.	広報委員会報告	12
12.	親睦委員会報告	13
13.	ロータリー情報委員会報告	13
14.	会報、雑誌委員会報告	14
15.	S・A・A 報 告	15
16.	職業奉仕委員会報告	15
17.	社会奉仕委員会報告	16
18.	青少年奉仕委員会報告	16
19.	国際奉仕委員会報告	17

附 表

昭和38年度予算書	19
会 員 名 簿	21
会員職業分類表(別紙)	
ク ラ ブ 会 報 (")	

クラブアッセンブリープログラム

1964. 3. 4

於 鶴 鳴 館

18.00~18.01	開 会 の 辞	副 会 長	土 橋 英 夫
18.01~18.04	ロ ー タ リ ー ソ ン グ (奉 仕 の 理 想)	齊 唱	
18.04~18.11	歡 迎 の 辞 及 び ガバナー 紹 介	会 長	桜 美 四 郎
18.11~18.15	ガ バ ナ ー 挨 拶	ガバナー	嘉 村 平 八
18.15~18.22	会 員 自 己 紹 介		
18.22~18.25	会 長 報 告	会 長	桜 美 四 郎
18.25~18.30	概 況 報 告	幹 事	川 村 洋
18.30~	会 計 報 告	会 計	大 山 実
	ク ラ ブ サ ー ビ ス 報 告	会 務 担 当	黒 木 長 太 郎
	出 席 奨 励 委 員 会 報 告	委 員 長	安 樂 慶 一 郎
	職 業 分 類 委 員 会 報 告	"	岩 元 健 吉
	会 員 選 考 委 員 会 報 告	"	牧 田 健 二
	プ ロ グ ラ ム 委 員 会 報 告	"	大 小 田 友 一
	広 報 委 員 会 報 告	"	福 井 浩 雄
	親 睦 委 員 会 報 告	"	柴 山 一 郎
	ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会 報 告	"	塘 一 郎
	会 報 , 雑 誌 委 員 会 報 告	"	堀 俊 一
	S . A . A 報 告	S . A . A	小 山 幸 義
	職 業 奉 仕 委 員 会 報 告	委 員 長	岩 元 正 二
	社 会 奉 仕 委 員 会 報 告	"	米 倉 秀 雄
	青 少 年 奉 仕 委 員 会 報 告	"	西 郷 隆 永
~19.40	国 際 奉 仕 委 員 会 報 告	"	船 木 永 潔
19.40~20.00	講 評	ガバナー	嘉 村 平 八
20.00~20.01	閉 会 の 辞	幹 事	川 村 洋
20.01~20.11	休 憩		
20.11~	懇 談 会 食		
21.00	終		

ロ ー タ リ ー ソ ン グ (手 に 手 つ な い て) 齊 唱

役員、委員名簿

1963-7 ~ 1964-6

会 長 (理事)	桜 美 四 郎
副 会 長 (")	土 橋 英 夫
幹 事 (")	川 村 洋
理 事	黒 木 長 太 郎
"	船 木 潔
"	岩 元 正 二
"	西 郷 隆 永
"	米 倉 秀 雄
会 計	大 山 実
S.A.A	小 山 幸 義

会務担当 黒 木 長 太 郎

◎ 委員長 ○ 副委員長

出 席 奨 励	◎ 安 楽 慶 一 郎	○ 高 徳 三 蔵
職 業 分 類	◎ 岩 元 健 吉	○ 河 井 時 義
会 員 選 考	◎ 牧 田 健 二	○ 松 元 明 人 ・ 島 津 忠 丸
プ ロ グ ラ ム	◎ 大 小 田 友 一	○ 久 保 政 次
広 報	◎ 福 井 浩	○ 福 田 敏 之
親 睦	◎ 柴 山 一 雄	○ 重 松 和 ・ 藤 安 辰 造
ロ ー タ リ ー 情 報	◎ 塘 一 郎	○ 川 路 清 高
会 報 ・ 雑 誌	◎ 堀 俊 一	○ 鮫 島 志 芽 太
職 業 奉 仕	◎ 岩 元 正 二	○ 柳 田 喜 雄
社 会 奉 仕	◎ 米 倉 秀 雄	○ 望 月 止 戈 郎
青 少 年 奉 仕	◎ 西 郷 隆 永	○ 堀 之 内 昭 一 郎
国 際 奉 仕	◎ 船 木 潔	○ 高 井 敏 治

会 長 報 告

会 長 桜 美 四 郎

昭和38年3月23日新クラブ結成し、6月27日附で国際ロータリー加盟の承認を得た次第で創立してまだ日が浅いので今までは主に会員並びに家族の相互の親睦を深めることと、ロータリー情報の徹底に努力してきました。

11月20日認承状伝達式も終了しましたので、今後は従来の活動を一層強化すると同時に委員会活動の活潑化をはかり清新にして特色あるクラブとして発展するよう努力したいと念願しています。尚、従来通り新入会員の質の点については充分考慮の上、逐次会員の増加をはかつて行きたい所存であります。

2月23日ロータリー創立記念日を期してインターアクト創立準備委員会を組織して青少年育成指導に寄与したいと思っております。

概 況 報 告

幹 事 川 村 洋

1. 創 立 年 月 日	昭 和 3 8 年 3 月 2 3 日		
2. 承 認 年 月 日	昭 和 3 8 年 6 月 2 7 日		
3. チ ャ ー タ ー メ ン バ ー	2 5 名		
4. 本 年 度 頭 初 会 員 数	2 5 名		
	入 会 者	1 2 名	
	退 会 者	5 名	
5. 現 在 会 員 数	正 会 員	3 2 名	
6. 平 均 年 令	5 0 才		
	3 0 才 台	4 名	6 0 才 台 5 名
	4 0 才 台	9 名	7 0 才 台 1 名
	5 0 才 台	1 3 名	
7. 出 席 率	9 8.9 0 %		
8. 予 算	末 尾 の 通 り		
9. 入 会 金	1 5,0 0 0 円		
10. 会 費	3 0,0 0 0 円 (年 間)		
11. ビ ジ タ ー 会 費	3 0 0 円		
12. 会 報	3 カ 月 に 1 回 発 行	1 月 より 週 報 発 行	
13. ア ッ セ ン ブ リ ー	6 回		
14. フ ォ ー ラ ム	4 回		
15. 炉 辺 会 合	5 回		
16. 理 事 会	1 4 回		

定時理事会は毎月第2木曜日に開催しているが、主として例会後に催し時間を充分にかけて理事相互間の意見の疎通をよくし、クラブ運営を明朗にするよう努力している。

17. 県下R.C会長幹事会

3カ月に1回開催されている。

当クラブは昨年8月より出席し意見の交換を行つている。

会 計 報 告

会計 大 山 実

1. クラブの会費は年額 3 0, 0 0 0 円を 7 月と 1 月の 2 期に分割徴収している。
2. 7 月初旬に理事会で年間の予算を樹て、総会の承認を得て運営されている。予算外の支出は必ず理事会の承認を得て支出されている。
3. 期末には役員により監査を行い、会員に対し会計の報告をしている。
4. 本年度の予算は末尾の通り

ク ラ ブ サ ー ビ ス 報 告

会務担当 黒 木 長太郎

基 本 方 針

各委員会の運営を友好的雰囲気のうち総括すると共に各委員会との連絡をはかり、クラブ活動を円滑に推進する。

業 績

1. アツセンブリーを 6 回開催した。
2. フォーラムを 4 回開催した。
3. ファイヤサイド・ミーティングを 5 回開催した。
4. 国際ロータリー記念日にインターアクト創立準備委員会を結成した。

計 画

1. 各委員会の活動を積極的ならしめるよう努力する。

出 席 奨 励 委 員 会 報 告

委員長 安 栗 慶一郎

基 本 方 針

出席することはロータリー精神を浸透させる機会を得ることであるから出席を督励する。

業 績

1. 2 回以上の欠席者に個別に督励している。
2. 出席向上のため、全員の出席表を例会入口に掲示している。
3. 1 0 年出席者に対し記念バッヂを贈呈した。

4. テーブル組別の出席競争をしている。

計 画

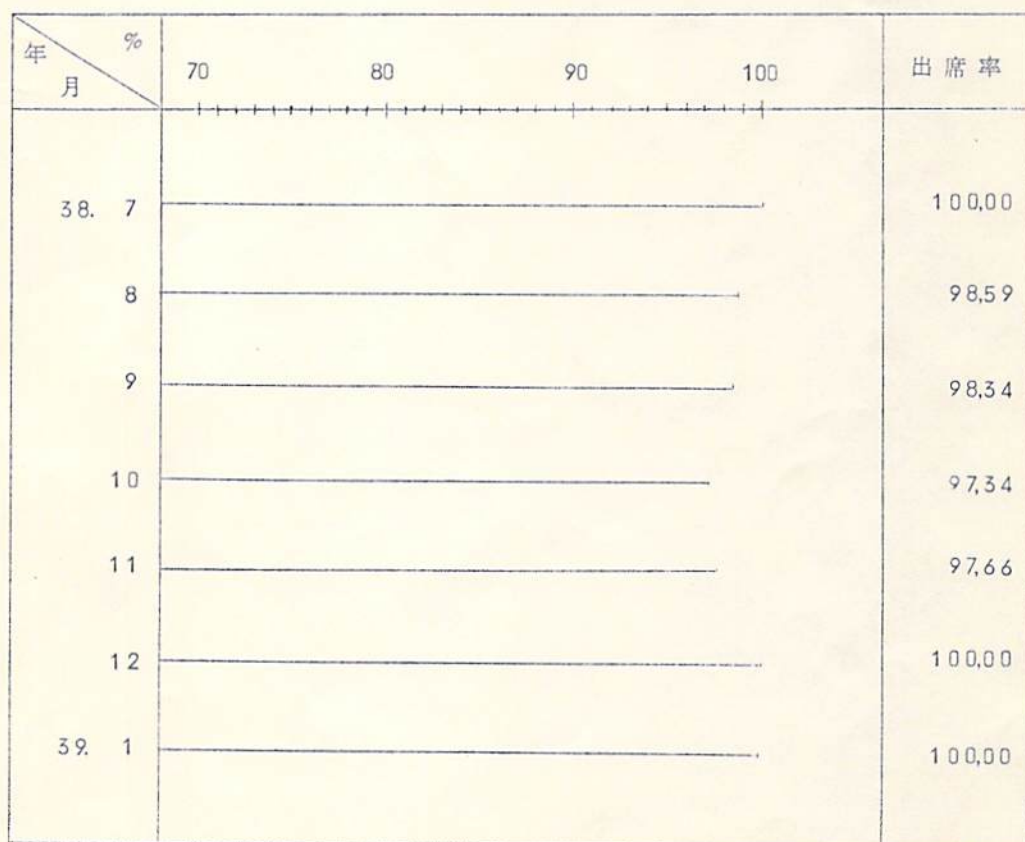
1. 年間出席者に対して記念品贈呈の予算を準備している。
2. 欠席の事前の届出を励行。
3. 組制度を取り入れお互間の競争をし100%組を表彰する。
4. 出席規定を配布する。

例会出席状況

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	マーク アップ	出席 訂正率	ゲスト	ピジター
14	6. 27	25	22	5	81.48	5	100.00	1	9
15	7. 4	25	23	4	85.19	4	100.00	3	20
16	11	27	24	3	88.89	3	100.00	0	4
17	18	27	22	5	81.48	5	100.00	3	12
18	27	27	23	4	85.19	4	100.00	0	0
19	8. 1	27	25	2	92.59	1	96.30	0	12
20	8	28	20	8	71.43	8	100.00	0	9
21	17	29	19	10	66.20	10	100.00	0	4
22	22	29	23	6	79.31	6	100.00	0	18
23	29	30	21	9	70.00	8	96.67	0	17
24	9. 5	29	26	3	89.66	3	100.00	2	15
25	12	30	17	13	56.67	12	96.67	1	11
26	19	30	22	8	73.33	7	96.67	2	15
27	26	30	24	6	80.00	6	100.00	1	25
28	10. 3	30	24	6	80.00	5	96.67	1	12
29	10	30	21	9	70.00	9	100.00	0	11
30	17	30	24	6	80.00	5	96.67	6	18
31	24	30	25	5	83.33	4	96.67	5	12
32	31	30	21	9	70.00	8	96.67	2	25
33	11. 7	32	29	3	90.63	2	96.88	0	18
34	14	32	26	6	81.25	5	96.88	1	12
35	20	32	32	0	100.00	0	100.00	11	187
36	28	32	23	9	71.88	8	96.88	0	15
37	12. 5	32	21	11	65.63	11	100.00	1	11

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メイク アップ	出席 訂正率	ゲスト	ビジター
38	12. 12	32	23	9	71.88	9	100.00	0	12
39	19	32	27	5	84.38	5	100.00	0	16
40	26	31	30	1	96.77	1	100.00	3	5
41	1. 9	31	24	7	77.42	7	100.00	1	10
42	16	31	21	10	67.74	10	100.00	1	13
43	23	31	22	9	70.97	9	100.00	1	18
44	30	31	22	9	70.97	9	100.00	1	10
45	2. 6	32	26	6	81.25	6	100.00	2	14
46	13	32	27	5	84.38	5	100.00	1	14
33回	計	986	779	211	2599.90	200	3263.63	50	604
	平均	30	23.6	6.4	78.78	6	98.90	1.5	18.3

月別出席率表



職業分類委員会報告

委員長 岩元健吉

基本方針

1. 適正な分類表を作成し、その分類は地域に於ける職業を片寄らないように含むよう心掛けること。
2. 未充填分類の補充につとめる。

業 績

1. 会員の分類表を作成した。
2. 見易いように一連番号をうった。

計 画

1. 常時適格な職業分類表を作成、会員に配布して、未充填の分類を充填するよう、会員に推薦を依頼する。
2. 定期的（11月1日頃）に会員の職業分類表を作成する。
3. 年に3～4回委員会を開催して職業分類について再検討したい。

職業分類別会員数

職業分類	会員数	職業分類	会員数
自動車工業	1名	家具備品	1名
放送	1名	瓦斯工業	1名
被服工場	1名	旅館食堂	1名
建設業	1名	施設及病院	1名
綿業	1名	保険	2名
織維品及雑貨	2名	機械器具	2名
教育	3名	医術	4名
金融	3名	印刷出版	1名
水産業	1名	鉄道設備	1名
食品工業	1名	ゴム工業	1名
植物性食品	2名	計	32名

会員選考委員会報告

委員長 牧田 健二

基本方針

入会希望者の人格、地域社会における名声と地位によつて厳正に選考する。

選考に際しては出席の可能性と融和性も考慮する。

業績

1. 選考には飽迄も慎重を期して14段階を遵守している。
2. 全員、ロータリアンとして誇り得る人々で、会員増員のみを目標とせず質に重点をおいてきたことはよかつたと考える。

計画

1. 会員選考については、情実を避け厳正を旨とし、個人の品性と出席可能性を重視する。

プログラム委員会報告

委員長 大小田 友一

基本方針

1. プログラム編成に当つては、常に会員の意向を尊重し、親睦と友情を深め、又知識の啓蒙のため社会全般に亘る夫々の権威者をゲストに迎えてプログラムの編成をする。
2. 例会を楽しく且つ有益なものにするため、バランスのとれたプログラムを準備 斡旋して、理事会及び他の委員会の計画を効果あらしめるよう考慮する。

業績

1. 当初はクラブ設立早々のため、情報活動やチャーターナイト準備のため終始した。
2. 会員全員の希望アンケートに基き、各界の権威者より卓話を聴くことにし、又 会員各自も相互に行うことにしている。

計画

1. 会員各自が卓話の30%を占めるよう計画する。
2. 事前に卓話者を依頼するため、予め一カ月間の予定を編成する。
3. 特に情報委員は月2回5分～10分のインフォメーションスピーチをする。

卓 話 一 覧 表

月 日	来 賓 卓 話			会 員 卓 話	
	氏 名	職 業	題 目	氏 名	題 目
38. 7. 4	福田得志氏 鷹野孝徳氏	鹿 R・C 会員 "	国際ロータリー 加盟承認祝賀に 付き挨拶		
11				クラブアツセンブリー	
18	ローランド・ ハーカー氏 原 俊夫氏 森田 耕一氏	M・R・A会員 (義の宮英語 教 師) M・R・A会員 "	M・R・A について		
27				家 族 会	
8. 1				チャーターナイト総務打合せ	
8				"	各委員会別打合せ
17				"	"
22				クラブアツセンブリー	
29				チャーターナイト準備打合せ	
9. 5	内山八郎氏	鹿大附属病院 外科部長	老童無心会設立 について		
12				桜美四郎君 岩元健吉君	一日地区講習会報告
19	大関尚之氏	西本願寺 鹿児島別院輪番	生命の経済学		

月 日	来 賓 卓 話			会 員 卓 話	
	氏 名	職 業	題 目	氏 名	題 目
9. 26				塘 一 郎 君	一日地区講習会報告
10. 3				堀 俊 一 君	"
10				大小田 友一君	日本に於ける 自動車の現況
17	奥 山 須美子 氏	表千家茶道師範	茶道について		
24				チャーターナイト余興打合せ	
31				チャーターナイト会場委打合せ	
11. 7	飯 義 寿 氏	今治 R・C 会員	ロータリーについて		
14				チャーターナイト総括的準備	
20				チャーターナイト	
28				チャーターナイト終了に付き 会 長 外 挨 拶	
12. 5	小 原 政 雄 氏	南日本放送 放送編成部長	南米に 行つてみて		
12				安 楽 慶 一 郎 君	人工頭脳について
19				塘 一 郎 君	在来住宅の 人間形成について
39. 1. 9	鷹 野 孝 徳 氏	鹿児島銀行頭取	新春放談		

月 日	来 賓 卓 話			会 員 卓 話	
	氏 名	職 業	題 目	氏 名	題 目
1. 16	三ツ井卯三男氏	鹿 兒 島 市 長	市政の現状 について		
23	有馬万里代氏	鹿 兒 島 大 学 助 教 授	ロータリーソン グについて		
30	有山長太郎氏	陶 芸 家	薩摩焼について		
2. 6	井 関 之 夫 氏	協和醸酵工業 化 学 品 課 長	癌についての 映 写		
13				皎島志芽太君	欧米視察談

広 報 委 員 会 報 告

委員長 福 井 浩

基 本 方 針

当クラブが新設日が浅いため、特に当クラブ地域内を重点としてロータリーの精神、就中、奉仕の理想の周知浸透をはかる。

業 績

1. チャーターナイトを機会として、先ず報道機関に対してロータリーの精神当クラブの現状、チャーターナイトの趣旨をP・Rし必要事項につき新聞、テレビを通じて周知せしめた。
2. 市内クラブの広報委員等と連絡しロータリーの精神、奉仕の理想の周知浸透につき具体的な問題の研究検討を行つている。

計 画

1. 「4つのテスト」を当クラブ地域内の桜島航路の船室、空港、学校等に額入で配布し、且つ奉仕の理想についての趣旨も併せ配布する。
2. 卓話者（ゲスト）にロータリーの葉を贈呈する。
3. 報道機関と連絡を密にしロータリーの精神、綱領等についての解説記事P

R記事を掲載する。

親睦委員会報告

委員長 柴山 一雄

基本方針

1. 会員相互の理解と友愛を深め、家族ともども親睦をはかるため努力実行する。
2. 来訪者並びに来賓者に対しては、心より歓待し親交を深めるようにする。

業績

1. 会員名簿を作った。
(内容)誕生日、結婚日、趣味、特技、持病、精神年齢、12支、家族氏名、生年月日、学校名(在学)学年
2. 誕生日、結婚日に記念カード並びに記念品を贈った。
3. 家族会を開き桜島一周してお互の親睦、親交を深めた。
4. 親睦ゴルフ会に参加している。
5. クリスマス家族会を開催した。

計画

1. 県外ビジターのために鹿児島県及び市の観光パンフレット並びに案内地図等を常備しておく。
2. 会員の吉凶の際は粗品を進呈して敬意を表したい。

ロータリー情報委員会報告

委員長 塘 一郎

基本方針

会員、特に新入会員がロータリーについて理解を深めるために、必要な情報を提供して、これを援助し助言すること。

業績

1. 新入会員にロータリー、その歴史、綱領、活動について、適確な理解、知識を与え、現在会の運営は極めて快適に行われている。
2. 例会に於いて月2回インフォメーションを行つている。

3. 炉辺会合を5回開催した。

計 画

特にプログラム委員会と連携を密にし、月に2回位5分～10分の情報活動を行いたい。

会報、雑誌委員会報告

委員長 堀 俊 一

基本方針

1. 会報は役員、委員及び会員相互の重要な伝達機関であるから、クラブ活動の企画、実施状況並びにロータリー刊行物の計画、情報を掲載し、奉仕の理想、理解の助成につとめる。
2. 週報及び会報を発行する。週報は記録を主とし、会報は企画、指針、情報等、指導性のあるものを主として掲載する。
3. わかりやすく、読みやすく、喜んで読んでもらえるように工夫する。

業 績

昨年9月から会報を、本年1月末から週報を発行している。

各委員会の会報利用を今後積極的に進めて行きたい。

計 画

1. 内容は主として次のものから選定する。
※週報（例会記録から）ゲスト、ビジター紹介、会務報告、出席報告、卓話要旨、卓話次週予定、その他各委員報告
※会報 興味ある卓話、各委員会の活動ニュース並びに所見、感想、理事会、委員会、クラブ財政等、例会出席状況、新入会員紹介、会長の寄稿、国際ロータリーニュース、個人の画期的なできごと、ロータリー情報、会員職場訪問
2. ニュースを集める方法
 - (1) 各委員会に連絡係を置くようにしたい。
 - (2) 定期的に記事を集めるようにする。
3. 週報は毎週80部発行する。会報は1～3月ごとに100部発行する。
4. ロータリアン誌の購読会員の増加に努める。

S . A . A 報 告

S . A . A 小 山 幸 義

基 本 方 針

出席しやすい楽しい雰囲気をもりあげ、例会の運営を明るい空気の下に行う。

会員相互の親睦の場になるよう努力する。

業 績

会員全体にアンケートを出し、料理、席順等についての意見を総合的に判断した。その結果、食事並びに会場雰囲気共好評でビジターも多数訪問いたゞている。今後も現在のいゝ線はそのまま存続させ更に料理その他改善努力を続けていきたい。

計 画

1. ニコニコ箱の利用が不活潑であつた。今後は親睦委員会とも連絡を密にし誕生祝、その他の祝事等、ユーモアの内にニコニコ箱の利用をはかりたい。
2. 席順を週毎に検討し会員相互の親睦をより全体的なものとする。
3. ゲストを親切丁寧に迎え友情を深めるよう努める。

職 業 奉 仕 委 員 会 報 告

委員長 岩 元 正 二

基 本 方 針

社会に奉仕する一つの機会としてロータリアン各自の従事する職業の道德的水準を高め、その真価を認識し、且つ そのものに權威あらしめる。

業 績

1. 「4つのテスト」のポスターを職場に配布した。
2. 職業安定所を訪問、離職者等の生活意欲向上につき所長と懇談「4つのテスト」入り鏡を贈つた。

計 画

1. 「4つのテスト」並びに時間厳守のポスターを職場に配布する。

2. 優秀事業場を見学，従業員との懇談をしたい。

社会奉仕委員会報告

委員長 米 倉 秀 雄

基本方針

地域社会における手近な問題を市内他クラブと協調しながらとりあげて、地域社会の福祉増進をはかる。

業 績

1. 歳末助け合い運動に協力した
2. 列車内清潔保持のため塵芥集めの紙袋を国鉄に寄贈した

計 画

1. 離島無医地区に県内の他クラブと共同で医薬品を寄贈する予定
2. 交通安全対策を県内他クラブと共同でポスター等を作成配布を計画している。
3. 環境衛生，社会福祉等の問題を研究していきたい。

青少年奉仕委員会報告

委員長 西 郷 隆 永

基本方針

青少年の不良化防止運動に努力する。

業 績

1. 新聞配達少年の野球大会に激励のため寄附した。
2. 昨年秋新設された勤労青少年ホームに、「4つのテスト」を記入した鏡を贈った。
3. 身体不自由者の治療病院として昨年秋新設の「山びこ整肢園」に慰問のため菓子を持参激励した。
4. 新聞配達少年達を囲んで激励した。

計 画

1. 交通禍より児童を守る運動として横断表示の両側に黄色の旗を置き災害防

止に協力したい。

2. ボーイスカウトの育成につき寄与したい。
3. 小さい善意運動に協力したい。
4. ワンダーフォーゲル運動に協力したい。
5. マイナークラブ運動を助成したい。
6. 国際ロータリー記念日を期してインターアクト創立準備委員会を結成の上インターアクトの育成につとめる。

国際奉仕委員会報告

委員長 船 木 潔

基本方針

国際ロータリーの一員となりたることを自覚し、現会長の提唱する個人対個人、クラブ対クラブ、地域対地域の理解と友情を深め世界人類の平和の福祉に寄与すべく努力をつみかさねる。

業 績

1. 福岡アメリカ文化センター館長 デビット、ヒッチコック氏を例会に招き親善を深めた。
2. ロータリー財団に寄附した。
3. R・I 指定クラブである110区 Cheltenham クラブと文通、先方から町を紹介した文書をもらった。

計 画

1. 海外旅行をされる会員に海外クラブでの出席を奨励し、バナーの交換をお願いしたい。
2. クリスマス、或は例会に随時留学生を招待して親善を計りたい。
3. 鹿児島港に入港する外国軍艦の乗組員を例会に招待したい。
4. 鹿児島に住む外人、滞在中の外人と交際してロータリーの業績を認識してもらおう。

附 表

昭和 38 年度 予 算 書

会 員 名 簿

会 員 職 業 分 類 表 (別 紙)

ク ラ ブ 会 報 (別 紙)

昭和38年度収支予算書

1963-7~1964-6

(収入の部)

費 目	予 算 額	摘 要
前 期 繰 越 高	287,331	
年 会 費	840,000	上期12,000円×30名 下期12,000円×40名
入 会 金	130,000	10,000円×13名
ビジター会食費	180,000	300円×50名×12カ月
雑 収 入	40,000	ニコニコ箱ほか
合 計	1,477,331	

(支出の部)

費 目	予 算 額	摘 要
1. 人 頭 分 担 金	43,200	下期1,080円×40名
2. 地 区 資 金	22,750	上期350円×25名 下期350円×40名
3. 地 区 国 際 青 少 年 資 金	6,500	＃ 100円×25名 ＃ 100円×40名
4. 地区大会分担金	13,500	540円×25名
5. 会 議 費	45,000	一日講習会2,000円×4名 地区協議会2,000円×6名 会長幹事会 3,000円×4回 市内クラブ連絡会1,500円×2名 ×2回 アツセンブリー補助
6. 事 業 費	178,000	
イ、職 業 奉 仕	10,000	
ロ、社 会 奉 仕	30,000	
ハ、青 少 年 奉 仕	10,000	
ニ、国 際 奉 仕	10,000	
ホ、ク ラ ブ サ ー ビ ス	106,000	
出 席	11,000	パンフレット印刷, 表彰1年300円×27 10年1,600×1

費 目	予 算 額	摘 要
会 員 選 考	1,000	
職 業 分 類	3,000	職業分類表印刷代
親 睦	40,000	ピジター100番目記念125円×5 家族会補助, ソフトボール負担150円×40 誕生祝記念品代ほか
プ ロ グ ラ ム	15,000	卓話者への謝礼300円×35
ロ ー タ リ ー 情 報	11,000	ガバナーズレター代, 文献購入費
広 報	3,000	報道関係者との会食ほか
会 報 雑 誌	22,000	月報印刷代
7. 会 食 費	655,000	300円×42名×52回
8. 事 務 局 費	382,000	
イ、人 件 費	240,000	事務員給料並びに夏期, 年末手当
ロ、通 信 費	30,000	電話料, 切手, ハガキ等
ハ、事 務 用 品 費	30,000	
ニ、厚 生 福 利 費	7,000	健康保険料並びに厚生年金
ホ、旅 費	50,000	地区協議会2名 一日講習会4名(義務出席者)ほか
ヘ、函 書 費	5,000	新 聞 代
ト、雑 費	50,000	前会長, 幹事記念品代7,000円×2 バッチ代ほか
9. 備 品 費	100,000	バッチ掛, 黒板, 講演台, 事務机等ほか
10. 予 備 費	13,381	
合 計	1,477,331	

会 員 名 簿

1	A	安 楽 慶一郎	澱 粉 製 造	安楽農産工業 ^株	代表取締役	平之町130
2	F	福 井 浩	生 命 保 險	日本生命保險 鹿 支 社	支 社 長	樋之口町93
3		福 田 敏之	民 間 放 送	^株 南日本放送	取 締 役 編 成 局 長	高麗町17
4		船 木 潔	外 国 為 替 銀 行	三井銀行鹿支店	支 店 長	金生町15
5		藤 安 辰造	味 噌 製 造	藤安醸造 ^株	取締役社長	住吉町106
6	H	堀 俊 一	鉄 道 車 輛 修 理	国鉄鹿兒島工場	工 場 長	上荒田町800
7		堀之内 昭一郎	家 具 製 造	堀之内木工業 ^株	専務取締役	東千石町72
8	I	岩 元 健吉	製 綿	山形屋産業(名)	取締役社長	郡元町927
9		岩 元 正二	織 維 品 販 売	山形屋商事 ^株	常務取締役	堀江町8
10	K	河 井 時義	外 科 医	河井外科医院	院 長	高麗町183
11		川 村 洋	百 貨 店	^株 山 形 屋	常務取締役	金生町39
12		川 路 清高	医 学 教 育	鹿大医学部	教 授	山下町117
13		黒 木 長太郎	大 学	鹿兒島経済大学	学 長	永吉町450
14		久 保 政次	ゴ ム 製 品 販 売	^株 久保利商店	代表取締役	六日町14
15		小 山 幸義	ホ テ ル	^株 鹿兒島ホテル 鶴 鳴 館	専務取締役	山下町153
16	M	牧 田 健二	内 科 医	牧 田 医 院	院 長	下竜尾町603
17		松 元 明人	漁 業 組 合	県漁業協同会 組 合 連 合 会	会 長	洲崎町22
18		望 月 止戈郎	信 用 保 証	県信用保証協会	"	金生町54
19	O	大 山 爽	商 業 銀 行	鹿 兒 島 銀 行 武 町 支 店	支 店 長	武 町429
20		大小田 友一	自 動 車 販 売	新 鹿 兒 島 いすゞモーター ^株	専務取締役	塩屋町20の8
21	S	西 郷 隆永	相 互 銀 行	旭 相 互 銀 行	常務取締役	六日町8
22		桜 美 四郎	瓦 斯 供 給	日 本 瓦 斯 ^株	取締役社長	武 町501
23		鮫 島 志芽太	新 聞 発 行	南日本新聞社	常務取締役 編 集 局 長	易居町2
24		柴 山 一雄	齒 科 医	柴山齒科医院	院 長	山下町30
25		島 津 忠丸	土 木 建 築	新九州建設 ^株	常務取締役	山下町210
26		重 松 和	婦 人 服 販 売	(有限)アキ	代表取締役	東千石町56

27	T	高德三藏	機械類輸出入	三菱商事株 鹿兒島出張所	所長	六日町14の1
28		高井敏治	砂糖販売	株高井商店	専務取締役	汐見町15
29		土橋英夫	産婦人科医	土橋病院	院長	西田町10
30		塘一郎	工業教育	鹿兒島大学	工学部教授	鴨池町52
31	Y	米倉秀雄	公立病院	鹿兒島市立病院	副院長	樋之口町28
32		柳田喜雄	機械工場	函南工業株	取締役社長	易居町2